

## 質問と回答

### 1) 検討対象外の公共施設・市有地

- アクセスを良くするために公共施設までの交通手段を確保するのではなく、施設の方を近くに持ってくるという発想があっても良い。地域内でも増えている空き家を活用し、小規模な施設を点在させてはどうか。
- 石山地区公民館の機能を石山南まちづくりセンターに移転する場合、石山南まちづくりセンターだけでは面積が足りないと思う。両施設とも利用率が高いので、近隣の空地を使って増築することなども検討し、施設が利用できない個人や団体が出ないようにしてほしい。
- 小学校区ごと、少なくとも中学校区ごとに子ども達が集える場所があると良い。学校の空き教室の活用を検討してはどうか。ただ、近年は不登校の子どもが増えているので、学校外にも居場所が必要になると思う。
- 石山団地は再編対象の施設には入っていないが、入居者が少なくなっているので、空き部屋をサークル活動や会議に使ったり、空いている棟があるのならば解体し、駐車場や新たな公共施設を建てるなどして効率良く使ったらどうか。

#### 【回答】

現状の公共施設以外においても、利活用の可能性がある施設や土地を活用した再編の方向性を検討してはどうか、とのご提案であると受け止めています。

今回のワークショップでは、近隣の市有地を活用し、新たな施設整備を行うことを提案しています。

今回ご提案いただいた「学校」、「市営住宅」などの、空きスペース等は、今後必要に応じて効率的な活用を検討します。

## 2) 地域別実行計画に定める範囲外の議論について

みなさんから以下のようなご意見をいただきました。

## 【論点の例】

- 冷暖房の設置について
- 貸室等の予約方法（インターネット予約・対人予約）について
- 施設の運営（民間委託・職員対応・運営委員会の発足）・草木等の管理について
- 利用率向上のための情報発信について
- 施設名称について
- 施設の Wi-Fi 整備について
- アクセス手段の拡充（区バス・コミュニティバス）について
- 具体的な施設案（図書館の電子図書館化、明るく洒落た雰囲気的空間、緑地の維持、駐車券式駐車場の整備）について

## 【回答】

市としてもより利用しやすい公共施設のあり方を検討することが重要と捉えております。施設の運用面での工夫、改善に関するご提案・ご意見は、第5回ワークショップ（ステップ5）で、改めてみなさんから意見をお聴きし、計画を実行していくうえでの配慮事項としてまとめます。まとめられた意見は、実際の施設整備の段階において検討し、施設の利便性向上に努めていきます。

## 3) 民間複合施設について

- 公的な機能に限らず、カフェ、コンビニ、フィットネスなどの民間施設も入れた新しいスタイルの公共施設にしてはどうか。人が集まる場にして、儲けることも考える必要があると思う。
- 公共目的以外の施設がないので使われないのではないか。コンビニなどの民間の施設が入ったら、赤字解消にもなって良いと思う。
- 人口が減っていく中でも維持し、更に発展させる視点も持つとしたら、コンビニなどの民間施設を入れることも考えたら良いと思う。コンビニは防災面でも役立つだろう。
- 施設が新しく綺麗で、近くにコンビニや商業施設もあるため、近隣の人にとって使いやすいのではないか。
- 越後石山駅前に複合施設を建てて、図書館や学習室に加え、カフェやコンビニなどの商業施設も入れられれば、高校生などの若い世代にとって魅力的な施設になるのではないか。例えば駅の周辺の用途制限を緩めて駅前に 10 階建て程度の複合施設を建て、下は公共施設、上はマンションにできたら地域が活気づくと思う。
- 4つの小学校区からの利便性を考えると、出張所の機能は地域の中心にあった方が良いと思う。移転後の空きスペースは民間に貸してコンビニや喫茶店、直売所などにできると良い。東区プラザのように商業施設が入れば、公共施設にも行ってみようという気持ちになると思う。
- 公共施設の若者の利用率を上げるためには、コンビニなど公共施設プラス  $\alpha$  の機能が必要だ。

## 【回答】

民間施設との複合化については、今後策定する地域別実行計画を実行していく中で、必要に応じて、民間事業者からの意見を聴く等、民間活力導入への可能性を検証したうえで検討します。

## 4) 再編の進め方について

- 施設再編で新しい施設をつくるとしたら、統合される施設をすぐになくしてしまうのではなく、社会状況や地域の状況を見ながら段階的に進めていけると良い。地域の人たちのこれまでの生活が変わることなく、必要なサービスが維持されるように配慮してほしい。

## 【回答】

本取組の上位計画と位置付ける財産経営推進計画においては、市が所有する施設の保有総量の縮減とともに、現状で提供されているサービス機能は維持していくこと（※）を基本としており、本日提示している複数案についてもこの考え方を前提に作成しました。

また、本ワークショップを通じて策定される地域別実行計画では、近い将来において再編の必要がある施設を選定し、その方向性と実施時期の目安を記載いたします。

計画実行の段階においても、整備の時期や手法などの工夫により、利用者への影響が極力少なくなるよう配慮します。

なお、現状では、築年数が浅く当面は現状のまま存続する施設であっても、更新時期が近付いた段階で、改めて当該施設の方向性を検討することが必要になります。中長期的に、再編の検討が必要になる施設については更新時期が近付いた段階で改めて地域のみなさんとの対話を行い、方向性を検討する予定です。

※：一部の施設用途については、「施設種類ごとの配置方針」により、当初の設置目的に対する社会ニーズが低くなってきているなどの理由から、単独の施設更新は行わず、他施設の多機能化などにより、サービス機能の維持を図っていきます。